

ブラジル

2022年9月2日
海外調査部・サンパウロ事務所

2021年の実質GDP成長率は4.6%増加した。新型コロナウイルス感染症のまん延禍で制限されていた対面サービスの本格稼働で、GDPの約6割を占める個人消費が拡大したことなどに支えられた。新型コロナの打撃から世界の需要が徐々に回復する中、ブラジルはコモディティ価格上昇の恩恵を受け過去最高の貿易黒字を記録した。対内直接投資額は、経済活動の再開に伴い、食料分野の需要が増大した。2021年4月には新ガス法が施行され、今後、民間企業による新たな投資機会につながるとみられる

■建設需要と経済活動制限措置の解除で商業が本格化

2021年の実質GDP成長率は前年比4.6%増加した。産業別にみると、農畜産業が0.2%減、工業が4.5%増、サービス業が4.7%増加し、工業とサービス業が押し上げ要因となった。サービス業は、情報サービス(12.3%増)、運輸・倉庫・郵便(11.4%増)、商業(5.5%増)などが牽引した。新型コロナの影響で、オンラインによる決済や申請といったデジタル化がさらに進んだことや、まん延防止に関連する規制が緩和され、人々の移動が活発化したことなどが要因だ。国内最大の経済都市であるサンパウロ市では、2021年8月から商業施設の収容人数規制の緩和や、営業時間制限の撤廃などが行われた。需要要素別では、総固定資本形成が17.2%増加した。不動産融資額が、統計を取り始めた1995年以降、過去最高水準に増加しており、建設分野の投資などが牽引した。

2021年の消費者物価上昇率(IPCA)は10.1%と、中銀が設定した目標値(2.25~5.25%)の上限を大きく上回った。世界的な物流コストの高止まりや、半導体等部品供給の不足の影響を受けた。また、ブラジル国内では降雨量不足から引き起こされた水力発電のダム貯水量減少に伴い、電力料金の追加徴収が行われたことが高インフレの要因となった。失業率は13.2%で、前年比0.6ポイント低下した。建設需要やコロナ禍で制限された商業の対面サービスの再開による新規雇用が、失業率の改善につながった。

表1 ブラジルの需要項目別実質GDP成長率

	2020年	2021年				2022年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	△3.9	4.6	1.3	12.3	4.0	1.6	1.7
民間最終消費支出	△5.4	3.6	△1.7	10.5	4.2	2.1	2.2
政府最終消費支出	△4.5	2.0	△3.9	5.8	3.5	2.8	3.3
国内総固定資本形成	△0.5	17.2	17.8	33.1	18.8	3.4	△7.2
財貨・サービスの輸出	△1.8	5.8	1.0	14.2	4.0	3.3	8.1
財貨・サービスの輸入	△9.8	12.4	7.5	20.3	20.6	3.7	△11.0

[注] 四半期の伸び率は前年同期比。
[出所] ブラジル地理統計院(IBGE)から作成。

■コモディティ価格の上昇により、過去最高の貿易黒字を記録

2021年の貿易(通関ベース)は、輸出が前年比34.2%増の2,808億1,500万ドル、輸入は38.2%増の2,194億800万ドル、貿易収支は614億700万ドルの黒字だった。現行の方法で統計を取り始めた1989年以降、過去最高の黒字幅になった。コロナ禍からの回復に伴うコモディティ製品の需要増や、サプラ

表2 ブラジルの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル, %)

	輸出(FOB)				輸入(FOB)				
	2020年 金額	2021年 金額	2021年 構成比	2021年 伸び率	2020年 金額	2021年 金額	2021年 構成比	2021年 伸び率	
農畜産業	45,155	55,141	19.6	22.1	資本財	24,174	24,368	11.1	0.8
大豆	28,564	38,639	13.8	35.3	資本財(輸送機器除く)	20,946	20,208	9.2	△ 3.5
焙煎していないコーヒー	4,974	5,805	2.1	16.7	工業用輸送機器	3,228	4,160	1.9	28.9
挽いていないトウモロコシ(スイートコーン除く)	5,853	4,189	1.5	△ 28.4	中間財	99,416	144,851	66.0	45.7
綿花・原綿	3,227	3,406	1.2	5.5	工業用資材(加工品)	58,026	89,368	40.7	54.0
フルーツとナッツ(ノンオイル)生若しくは乾燥	921	1,103	0.4	19.8	資本財部品および付属品(輸送機器用部品除く)	19,894	25,842	11.8	29.9
鉱業	49,052	80,046	28.5	63.2	輸送機器用部品	14,787	20,344	9.3	37.6
鉄鉱石およびその精鉱	25,780	44,661	15.9	73.2	工業用資材(原料)	2,432	3,571	1.6	46.8
石油および歴青油	19,614	30,609	10.9	56.1	消費財	21,201	24,017	10.9	13.3
銅鉱石および精鉱	2,409	3,369	1.2	39.9	非耐久および半耐久消費財	17,646	18,682	8.5	5.9
製造業	114,073	144,127	51.3	26.3	耐久消費財	3,555	5,335	2.4	50.1
砂糖・糖蜜	8,759	9,205	3.3	5.1	燃料および潤滑油	13,935	26,093	11.9	87.2
牛肉(生鮮、冷蔵、冷凍)	7,447	7,967	2.8	7.0	合計(その他含む)	158,787	219,408	100.0	38.2
大豆粕やその他飼料	6,331	7,898	2.8	24.8					
石油および歴青油	5,058	7,262	2.6	43.6					
鶏肉および食用となる鶏肉の内臓(生鮮、冷蔵、冷凍)	5,555	6,954	2.5	25.2					
合計(その他含む)	209,180	280,815	100.0	34.2					

(出所) 経済省

イチェーンの混乱などによるコモディティ価格の上昇などが、貿易黒字幅の増加につながった。品目別にみると、構成比で15.9%を占める「鉄鉱石およびその精鉱」が73.2%増加、「石油および歴青油」(構成比10.9%)も56.1%増加した。一方、トウモロコシは28.4%減少した。雨不足による干ばつで収穫量が減少したことなどが影響した。主要国・地域別の輸出額でみると、第1位の中国(構成比31.3%)が29.7%増、米国(構成比11.1%)が45.4%増、アルゼンチン(構成比4.2%)も39.9%増加した。チリやシンガポール、韓国などはいずれも50%以上の増加となった。輸入を品目別にみると、資本財(0.8%増)、中間財(45.7%増)、消費財(13.3%増)、燃料および潤滑油(87.2%増)の全てが前年比で増加した。主要国・地域別の輸入額でみると、構成比で21.7%を占める第1位の中国が37.0%増加した。米国(41.4%増)、アルゼンチン(51.3%増)、ドイツ(21.1%増)、インド(61.5%増)、ロシア(2.1倍)も大きく伸びた。

表3 ブラジルの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル, %)

	輸出(FOB)				輸入(FOB)				
	2020年 金額	2021年 金額	2021年 構成比	2021年 伸び率	2020年 金額	2021年 金額	2021年 構成比	2021年 伸び率	
中国	67,778	87,908	31.3	29.7	中国	34,778	47,651	21.7	37.0
米国	21,417	31,145	11.1	45.4	米国	27,856	39,385	18.0	41.4
アルゼンチン	8,489	11,878	4.2	39.9	アルゼンチン	7,897	11,949	5.4	51.3
オランダ	6,705	9,316	3.3	38.9	ドイツ	9,369	11,346	5.2	21.1
チリ	3,850	7,019	2.5	82.3	インド	4,167	6,728	3.1	61.5
シンガポール	3,671	5,821	2.1	58.6	ロシア	2,747	5,699	2.6	107.5
韓国	3,762	5,671	2.0	50.7	イタリヤ	4,077	5,479	2.5	34.4
メキシコ	3,829	5,560	2.0	45.2	日本	4,191	5,146	2.3	22.8
日本	4,127	5,539	2.0	34.2	韓国	4,497	5,108	2.3	13.6
スペイン	4,057	5,433	1.9	33.9	フランス	4,151	4,813	2.2	15.9
ドイツ	4,124	5,043	1.8	22.3	メキシコ	3,862	4,561	2.1	18.1
カナダ	4,230	4,922	1.8	16.4	チリ	2,896	4,421	2.0	52.7
合計(その他含む)	209,180	280,815	100.0	34.2	合計(その他含む)	158,787	219,408	100.0	38.2

[注] 輸入相手国には本来5位にブラジルが登場するが、本調査では次の特殊な事情を考慮して対象外とし、6位以降の国を繰り上げている。2018年以降、鉱脈の掘削調査活動、石油・天然ガスの採掘に必要な財に与えられる連邦税の優遇制度が変更した「2017年12月29日付法律13,586号」の存在がある。制度改正以前は、免税措置を受けるためにブラジルで製造された機械・装置は所有権が国内ではなく、海外の子会社などに輸出扱いにすることが条件だった。ところが、改正後はブラジル国内で当該財の所有権を維持したまま免税措置を受けられるようになったため、国内資産に繰り入れを行う動きが広まり、輸入統計に現れることになった。

(出所) 経済省

■対内直接投資、新型コロナによる打撃から回復軌道へ

対内直接投資額(国際収支ベース、フロー)は、前年比19.8%増の393億8,600万ドルだった。業種別にみると、最も増加したのは食料品で、投資額は前年比6倍以上の37億5,300万ドルだった。

工業で最も構成比が大きい自動車・トレーラー・車体(構成比9.7%)も43.7%増加した。サービス業では、最も構成比が大きい商業(構成比9.4%)が29.7%増加した。2021年4月には、天然ガスの運輸・配給・売買に関する規制を柔軟化する新ガス法が施行された。今後、民間企業による新たな投資機会につながるとみられる。

対外直接投資額 表4 ブラジルの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース>

(単位:100万ドル、%)

(国際収支ベース、フロー)は前年比23.5%減少し、107億3,100万ドルだった。引き続き米国向けの投資が最も多い。スペイン(8億2,800万ドル)向けの投資が前年比13倍だった。チリ向けも6倍以上の7億8,400万ドルと大きく伸びた。

	対内直接投資					対外直接投資			
	2020年	2021年				2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
農業・畜産・鉱業(その他含む)	6,952	3,559	9.0	△ 48.8	農業・畜産・鉱業(その他含む)	236	98	0.9	△ 58.5
石油・天然ガス採掘	4,039	1,379	3.5	△ 65.9	工業(その他含む)	4,156	2,229	20.8	△ 46.4
鉱物採掘関連事業	1,379	760	1.9	△ 44.9	化学品	2,701	21	0.2	△ 99.2
工業(その他含む)	9,424	12,908	32.8	37.0	金属	383	741	6.9	93.5
自動車・トレーラー・車体	2,655	3,816	9.7	43.7	自動車・トレーラー・車体	63	754	7.0	1,088.2
化学品	990	740	1.9	△ 25.2	機械・電子装置	55	29	0.3	△ 47.2
バルブ、紙および板紙	1,152	248	0.6	△ 78.5	繊維製品	9	52	0.5	448.9
食料品	599	3,753	9.5	526.7	非金属鉱物製品	249	175	1.6	△ 29.6
非金属鉱物製品	126	332	0.8	163.9	食料品	182	4	0.0	△ 97.8
金属	227	118	0.3	△ 48.0	ゴムおよびプラスチック製品	10	7	0.1	△ 32.4
機械および装置	844	461	1.2	△ 45.4	サービス業(その他含む)	9,524	8,290	77.3	△ 13.0
サービス業(その他含む)	16,248	22,548	57.2	38.8	金融サービス・同補助業	4,201	2,426	22.6	△ 42.3
金融サービス・同補助業	1,118	2,478	6.3	121.6	金融サービス(非金融持ち株会社)	3,736	3,889	36.2	4.1
商業(自動車除く)	2,847	3,693	9.4	29.7	商業(自動車除く)	95	852	7.9	798.4
電気・ガス等	1,873	2,215	5.6	18.2	不動産	127	109	1.0	△ 14.4
ITサービス	827	2,687	6.8	224.8	電気・ガス等	41	16	0.1	△ 61.1
倉庫業および運輸支援活動	200	236	0.6	17.9	ITサービス	209	164	1.5	△ 21.7
運輸	288	209	0.5	△ 27.5	インフラ	15	94	0.9	530.3
不動産	550	760	1.9	38.1	運輸	22	129	1.2	490.3
金融サービス(非金融持ち株会社)	1,987	2,226	5.7	12.0	倉庫業および運輸支援活動	53	1	0.0	△ 98.1
不動産の売買	245	370	0.9	51.0	不動産の売買	119	114	1.1	△ 4.3
合計	32,869	39,386	100.0	19.8	合計	14,035	10,731	100.0	△ 23.5

[注] 親子会社間資金貸借を含まないグロスの直接投資額(フロー)。
[出所] ブラジル中央銀行

表5 ブラジルの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース>

(単位:100万ドル、%)

	対内直接投資					対外直接投資			
	2020年	2021年				2020年	2021年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
米国	7,532	13,019	33.1	72.8	米国	4,195	2,815	26.2	△ 32.9
ルクセンブルク	1,421	5,030	12.8	254.0	英領バージン諸島	985	1,464	13.6	48.6
オランダ	5,401	4,069	10.3	△ 24.7	ルクセンブルク	1,386	1,189	11.1	△ 14.2
ケイマン諸島	1,474	2,145	5.4	45.5	ケイマン諸島	947	1,087	10.1	14.8
カナダ	564	1,507	3.8	167.2	スペイン	63	828	7.7	1,214.3
スペイン	2,012	1,276	3.2	△ 36.6	チリ	121	784	7.3	547.9
チリ	762	1,235	3.1	62.1	オランダ	289	602	5.6	108.3
ドイツ	851	1,154	2.9	35.6	バハマ	4,182	476	4.4	△ 88.6
英国	872	1,059	2.7	21.4	ウルグアイ	85	254	2.4	198.8
イタリア	961	856	2.2	△ 10.9	スイス	146	219	2.0	50.0
シンガポール	782	821	2.1	5.0	アルゼンチン	212	120	1.1	-
スイス	721	808	2.1	12.1	英国	104	103	1.0	△ 1.0
韓国	232	588	1.5	153.4	ポルトガル	96	73	0.7	△ 24.0
パナマ	493	587	1.5	19.1	メキシコ	130	64	0.6	△ 50.8
合計(その他含む)	32,869	39,386	100.0	19.8	合計(その他含む)	14,035	10,731	100.0	△ 23.5

[注] 親子会社間資金貸借を含まないグロスの直接投資額(フロー)。
[出所] ブラジル中央銀行

表6 ブラジルの主な対内直接投資案件(2021年)

業種	企業名	国籍	発表時期	投資額	概要
農業・食品・飲料	アンベブ	ベルギー	2021年1月	3億8,500万レアル	パラナ州ボンタ・グロッサ市のビール工場の生産能力を向上させ、ブラジル南部、南東部への供給力を高めるために3億7,000万レアルを投資する。残りの1,500万レアルは同州アウミランテ・タマンガレー市に清涼飲料水の製造ライン設立を発表。
	DVA	ドイツ	2021年2月	1億ドル	化学分野の企業としてアグリビジネス向けのイノベーション・技術開発を目的とした投資を発表。
	Citri&Co	スペイン	2021年3月	N.A.	欧州をリードする柑橘系の果実生産企業がセアラ州でメロンやスイカを世界に輸出するアグリコラ・ファームの少数株主となる。
	サステナブル・アグリカルチャー・ファイナンス・ファシリティ	スイス	2021年6月	10億レアル	パラナ州のコヒーを中心とした生産者組合であるココマールに耕作、畜産、森林分野のビジネスを統合することや二酸化炭素の排出を削減する管理手法に融資を行うと発表。
	アリストタ	スイス	2021年6月	4億レアル	小売りやフードサービス向けのパンメーカーとしてミナスジェライス州のボウソ・アレグレ市に新たな工場設立を発表。
	ヒロス・デ・リベラ	スペイン	2021年11月	20億レアル	ビールブランド、エストレラ・ガリシアの醸造会社であるヒロス・デ・リベラがスペイン以外で初めて同ブランドのビールを製造するための工場をサンパウロ州のアララクアラ市に設立すると発表。
	フォーエバー・オーシャンズ	米国	2021年11月	3億レアル	バイーア州のイリエウス市およびイタブナ市で、オフショアでカンパチを捕るための投資を行うと発表。
	アンベブ	ベルギー	2021年12月	8億7,000万レアル	パラナ州に2025年の稼働を目指して300mlおよび600mlの瓶について、リサイクル可能なガラスとラベルを使用するサステナブルな容器の製造拠点の設立を発表。
化学品	イボニック	ドイツ	2021年4月	2,000万レアル	サンパウロ州アメリカーナ市にテクノロジーセンター設立を発表。

紙・セルロース	CMPC	チリ	2021年8月	27億5,000万レアル	リオ・グランデ・ド・スル州の工場でおペレーションの近代化や環境を適切に管理するための新たな手段を導入するための投資を発表
	CMPC	チリ	2021年12月	9億4,570万レアル	産業用袋の大手供給元であるイグアス・セルロース・バベウの工場や森林の買収を発表。
自動車および自動車部品	ブリヂストン	日本	2021年6月	7億レアル	バイア州カサマリ工場への投資により、タイヤ生産工場の近代化を行い400の雇用機会を創出する。持続可能な製品や電気自動車やハイブリッド車向けのタイヤ生産にも注力する。
	住友ゴム	日本	2021年7月	10億6,400万レアル	乗用車、軽トラック、トラック、バス用タイヤの生産能力を増強する投資を発表。
	長城汽車	中国	2021年8月	N.A.	メルセデスベンツが自社戦略として電動化やデジタル化するに際し、売却したサンパウロ州イラセマポリス市に所在する工場を買い取ると発表。
	トヨタ自動車	日本	2021年9月	N.A.	サンパウロ州ソコカバ工場での生産量(ヤリス、エティオス(輸出用)、カローラ・クロス)を向上させるため、2022年1月から3交代制を導入と発表。
	ゴールドマンサックス	米国	2021年6月	21億レアル	融資サービスを展開するフィンテックのメトワードに投資。
IT・スタートアップ	パークシャー・ハサウエイ	米国	2021年6月	5億ドル	ブラジルのオンラインバンクであるヌーバンクは、2021年1月のシリーズGの延長として、パークシャー・ハサウエイから資金を調達することを発表。
	サンズ・キャピタル	米国	2021年6月	2億5,000万ドル	ブラジルのオンラインバンクであるヌーバンクは、シリーズGの延長としてサンズキャピタルにリードされた資金調達を発表。
	ソフトバンク/アドベント	日本/米国	2021年9月	2億2,500万ドル	ラテンアメリカのEコマース企業と提携するスタートアップ企業のメラマは、ソフトバンクとアドベントが率いるシリーズBの資金調達を実施。
	エクイニクス	米国	2021年10月	1億1,640万ドル	サンパウロ州サンタナ・デ・バルナイーバ市に新たなデータセンターを設けるための投資を発表。
	ソフトバンク/ステッドファスト/インサイト	日本/米国	2021年10月	7,500万ドル	プログラミングを使わない業務管理サービスを提供するスタートアップ企業、パイプファイのシリーズCの資金調達にソフトバンクが参加。7,500ドルのうち、ソフトバンクは5,000万ドルを出資。
	クラロ	メキシコ	2021年11月	17億レアル	5G入札の一部区画を落札。
	テレフォニカ	スペイン	2021年11月	11億レアル	5G入札の一部区画を落札。
	タイム	イタリア	2021年11月	10億5,000万レアル	5G入札の一部区画を落札。
	ソフトバンク	日本	2021年12月	1億2,700万ドル	健康保険に関わるヘルステック企業であるアリシのシリーズCとなる資金調達をリード。
金融サービス	シンガポール政府投資公社(GIC)	シンガポール	2021年4月	3億レアル	ブラジルのフィンテックで複雑な投資管理サービスを簡易な方法で提供するワレンへの投資を発表。
	ソフトバンク/アマゾン/アクセル・パートナーズ	日本/米国	2021年10月	1億800万ドル	ブラジルのフィンテック企業のビズモは、シリーズBとして、アマゾン、ソフトバンク、アクセルパートナーズがリードする資金調達を実施し、テクノロジーや人的リソースの拡大に充てることを発表。
	サムアップ	ドイツ	2021年11月	3,000万レアル	国立経済社会開発銀行(BNDES)が零細、小規模企業向けに2億70万レアルの融資を行うプログラムに対し、ドイツのサムアップが追加的に3,000万レアルの融資を行うことを発表。
	国家電網/CPFL	中国	2021年3月	152億レアル	2025年までの投資計画を見直し、135億レアルの投資予定から152億レアルに引き上げたことを発表した。
エネルギー	キエール	フランス	2021年5月	38億ドル	ベルナンブッコ州のボルト・ジ・スアペ市にグリーン水素発電ユニットの設立を発表。建設に合わせて2,000のポストの雇用を生み、同発電所のおペレーションが開始した場合には600の直接雇用を生むと説明している。
	エネル	イタリア	2021年6月	30億レアル	電力大手エネルの子会社、エネル・グリーン・パワー・ブラジルが南米で運用中の風力発電としては最大規模(716メガワット)となるピアウイ州のラゴア・ドス・バツホス市のラゴア・ドス・ベントス風力発電施設のおペレーションを開始。エネル・グリーン・パワーが世界で展開する風力発電としても最大規模となる。
	キエール	フランス	2021年7月	69億5,000万ドル	セアラ州の洋上風力発電施設でグリーン水素を生産開発することを発表。
	ソウイテック	ドイツ	2021年9月	52億レアル	ミナスジェライス州で太陽光発電施設を1カ所、太陽光発電と風力発電両方に対応出来る2カ所の発電施設設立の投資を発表。
	トランス・ハイドロジェン・アライアンス	オランダ/米国/スイス	2021年10月	20億ドル	セアラ州ベセン地区でグリーン水素を(年間50万トン以上)生産するための覚書を署名し、今後数年間で20億ドルの投資を見込んでいることを発表。オランダのトランス・ハイドロジェン・アライアンスはプロトン・ベンチャーズ、トラモ、グローバル・エナジー・ストレージ、ヴァロとのコンソーシアムとして覚書に署名している。
	アクシオナ・エナジー	スペイン	2021年11月	8億ユーロ	カーザ・ドス・ベントスがバイア州セント・セ市で開発中の風力発電プロジェクト(セント・セ市IおよびIIで850メガワットの発電に達する可能性あり)の買収に関する契約を締結。
	アエス・ブラジル	米国	2021年12月	39億レアル	2021年から2025年までの投資計画につき、35億レアルから39億レアルに見直したことを発表。リオ・グランデ・ド・ノルチ州で風力発電を行うため、化学大手ユニバーとのジョイントベンチャーのビジネスを考慮したもの。
石油・天然ガス	コベルガス	日本	2021年5月	3億7,040万レアル	天然ガス市場の需要を満たすため、流通網を内陸部および大都市圏に拡大する2021-2025年の長期戦略を発表した。
	エクイノール/エクソンモービル/ペトロガル	ノルウェー/米国/ポルトガル	2021年6月	80億ドル	サントス盆地のパカリヤウ鉱区の開発を行うことを発表。
	カルーン	オーストラリア	2021年6月	1億7,500万~1億9,500万ドル	サントス盆地のパウナにあるパトラ油田の開発を行うことを発表。
	シェル	オランダ/英国	2021年10月	3,510万レアル	カンボス盆地:シェル(70%)はエコペトロール(30%)をパートナーとして5鉱区のおペレーターとなった。
	ムバダラ	アラブ首長国連邦	2021年11月	18億ドル	バイア州サンフランシスコ・ド・コンデ市にあるペトロプラスのランドゥルフォアルベス精製所の買収を完了。
	トタルエナジー/ペトロナス/カタールペトロレウム	フランス/マレーシア/カタール	2021年12月	71億レアル	サントス盆地のプレソルト層セピア鉱区:ペトロプラス(30%)、トタルエナジー(28%)、ペトロナス(21%)、カタールペトロレウム(21%)のコンソーシアムが落札。
	シェル/トタルエナジー	英国/オランダ/フランス	2021年12月	40億レアル	サントス盆地のプレソルト層アタブ鉱区をペトロプラス(52.5%)、シェル(25%)、トタルエナジー(22.5%)が落札。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表7 ブラジルの主な対外直接投資案件 (2021年)

業種	企業名	投資国・地域	発表時期	投資額	概要
農業・食品・飲料	JBS	オランダ	2021年4月	3億4,100万ユーロ	欧州の植物性たんぱく質の植物代替食品メーカーであるヴィヴェラの買収を発表。
	JBS	英国、アイルランド	2021年6月	9億5,200万ドル	傘下のビルグリム・プライドを通じて、ケリー・グループによる英国とアイルランドでの食品ビジネスを買収することを発表。
	JBS	スペイン	2021年11月	1億ドル	スペインの培養肉のスタートアップ企業バイオテックフーズの買収を発表。
	マルフリグ	米国	2021年11月	1億ドル	マルフリグが70%の株式を保有するプラントプラスフーズは、代替たんぱく質の大手メーカーであるカナダのソル・クイジーンと、米国の植物由来食品を展開するドリンク・イート・ウェルを1億ドルでの買収を発表。
環境	アンビバル	米国	2021年1月	N.A.	道路の緊急清掃サービスなどを提供するカスタム・エンバイロメンタル・サービスの買収を発表。
	アンビバル	英国	2021年2月	N.A.	廃棄物処理サービスなどを提供するエンバイロクリアー・サイト・サービスの買収を発表。
	アンビバル	米国	2021年6月	N.A.	環境分野のサービスを提供するEMSエンバイロメンタルの買収を発表。
	アンビバル	カナダ	2021年9月	N.A.	産業用の清掃などのサービスを提供するリンクス・クリーク・インダストリアル&ハイドロパックスの買収を発表。
衣服・履物	グレンデニ/3G ハダール	英国	2021年7月	N.A.	ブラジルのサンダルなどを製造するメーカーであるグレンデニは製品の国際展開に向けたパートナーとして3Gハダールと覚書を締結した。商品の国際展開を行う会社はイギリスに置かれるとの現地新聞報道がある。
製薬	クリスタリア	中南米	2021年10月	8億レアル	メキシコ、ペルー、コロンビア、チリに支社を開設し、既に支社のあるアルゼンチンでのオペレーションを刷新するための投資を発表。
エネルギー	ペーエシビオス (ECBグループ)	パラグアイ	2021年11月	10億ドル	南半球では初となる先進的なバイオ燃料プラント (HVO e SPK) を建設するパラグアイのオメガグリーンプロジェクトに関わるインフラへの投資を発表。
金融サービス	ベモビ	チリ	2021年8月	1,740~3,812億ドル	デジタルファイナンスプラットフォームを運営するチリのティアシヤに、2023年までの目標に応じて変動する投資を行うことを発表。
	ヌーバンク	インド	2021年8月	4,400万ドル	インドのムンバイとバンガロールに所在するオンライン銀行であるジュピターに、セコイアキャピタルおよびマトリックスパートナーズと共に投資ラウンドに参加。

[出所] 各社発表および報道などから作成

ブラジル食肉大手のマルフリグは2021年11月、同社が70%の株式を保有するプラントプラスフーズを通じ、代替たんぱく質の大手メーカーであるカナダのソル・クイジーンと、米国の植物由来食品を展開するドリンク・イート・ウェルを合計1億ドルで買収すると発表した。また、食肉大手JBSが2021年6月、傘下のビルグリム・プライドを通じて、9億5,200万ドルで英国とアイルランドでの食品ビジネスを買収することを発表した。同社はさらに、11月にスペイン発の培養肉のスタートアップ企業、バイオテックフーズを1億ドルで買収することを発表した。

■対日貿易は輸出入額ともに前年比2ケタ増

経済省貿易統計 (COMEXSTAT) によれば、2021年の対日輸出額は前年比34.2%増の55億3,900万ドルだった。構成比32.4%を占める鉄鉱石は倍増した。アルミニウム (87.6%増) およびフェロアロイ (61.5%増) も増加した。国際的な需要増加による輸出価格上昇で、鉱物資源の輸出は日本を含め、全体的に増加した。一方、トウモロコシは53.7%減の3億2,300万ドルだった。

表8 ブラジルの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル, %)

	輸出 (FOB)					輸入 (FOB)			
	2020年		2021年			2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
鉄鉱石	892	1,793	32.4	101.0	自動車部品	620	932	18.1	50.3
鶏肉 (部分肉)	658	831	15.0	26.3	航行以外の機能を主とする船舶、浮きドック、潜水式のプラットフォーム	588	356	6.9	△ 39.5
コーヒー豆	293	403	7.3	37.5	自動車用エンジン部品	99	131	2.5	32.3
アルミニウム	186	349	6.3	87.6	核酸、その塩、その他の複素環式化合物	107	130	2.5	21.5
トウモロコシ	697	323	5.8	△ 53.7	集積回路	68	111	2.2	63.2
フェロアロイ	179	289	5.2	61.5	自動調整機器	59	102	2.0	72.9
大豆	156	216	3.9	38.5	玉軸受およびころ軸受	65	93	1.8	43.1
化学木材パルプ	141	190	3.4	34.8	鉄鋼製のねじ、ボルト、ナット等	60	87	1.7	45.0
大豆油かす	155	163	2.9	5.2	部分品および附属品 (第87.11項から第87.13項までの車両のものに限る。)	64	81	1.6	26.6
石油および歴青油	0	65	1.2	全増	ピストン式火花点火内燃機関	40	81	1.6	102.5
合計 (その他含む)	4,127	5,539	100.0	34.2	合計 (その他含む)	4,191	5,146	100.0	22.8

[出所] 経済省

対日輸入額は、前年比22.8%増の51億4,600万ドル。構成比18.1%を占める自動車部品（50.3%増）や自動車用エンジン部品（32.3%増）が押し上げ要因となった。ブラジルの自動車関連企業の中には、世界的な半導体不足の影響を受け、一時的に生産活動を停止する企業もある。ただ、新型コロナの影響を大きく受けた2020年からの反動で、年間の生産・販売・輸出台数は前年比で増加し、対日輸入にも影響した。

■日本からブラジルへの投資額は全体で大幅減も、分野別では拡大傾向

日本からブラジルへの対内直接投資額（国際収支ベース、フロー）は前年比74.6%減少して5億5,400万ドルとなり、全体の1.4%にとどまった。具体的な案件としては、住友ゴムがパラナ州のタイヤ生産工場の生産能力を向上させるため10億6,400万レアルの投資を発表した。また、ブリヂストンがバイーア州のタイヤ生産工場の近代化および生産力向上のため7億レアルの投資を発表する動きがあった。ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンドは、医療分野の教育サービスを展開するアフィア・エドゥカシオナルに1億5,000万ドル相当の投資を発表したほか、健康管理サービスを展開するヘルステックのアリシ調達した1億2,700万ドルの投資をリードした。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：2億1,332万人（2021年）			
②面積：851万345km ²			
③1人当たりGDP：7,564米ドル（2021年）			
④実質GDP成長率（%）	1.2	△ 3.9	4.6
⑤消費者物価上昇率（%）	4.3	4.5	10.1
⑥失業率（%）	12.0	13.8	13.2
⑦貿易収支（100万米ドル）	35,199	50,393	61,407
⑧経常収支（100万米ドル）	△ 65,030	△ 24,492	△ 27,925
⑨外貨準備高（100万米ドル、期末値）	353,588	353,588	354,623
⑩対外債務残高（グロス）（100万米ドル、期末値）	322,985	310,807	325,440
⑪為替レート（1米ドルにつき、レアル、期中平均）	3.94	5.16	5.39

〔注〕③：推計値 ⑦：通関ベース
 〔出所〕①②④～⑥：ブラジル地理統計院 (IBGE)、⑦：経済省、⑧、⑩：ブラジル中央銀行、③、⑨、⑪：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 米州課

ORB-latin@jetro.go.jp